～山梨県立美術館のあゆみ～

Part 2：開館後の出来事

-1周年から40周年まで-

種をまく 世界がひらく
山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

～山梨県立美術館のあゆみ～では、
昭和53（1978）年に開館した山梨県立美術館の足跡を、
館に残る記録写真とともに辿ります。

Part 2では、「開館後の出来事-1周年から40周年まで-」と題し、作品の収蔵や施設の増築など、1979年度から2018年度までにあった、様々な出来事を振り返ります。

※本資料は「山梨県立美術館開館40周年記念　コレクション企画展　山梨県立美術館物語　40年間のストーリー＆ヒストリー」（会期：2018年1月2日～3月4日）に際して作成したパネルや刊行したリーフレットを2020年6月に再編集したものです。

昭和54（1979）年度

開館1周年

作品新収蔵

ジャン＝フランソワ・ミレーの油彩画
《ポーリーヌ・V・オノの肖像》、
《ダフニスとクロエ》、
《冬（凍えたキューピッド）》
を収蔵しました。

新収蔵の3点を展示した常設展示室

昭和56（1981）年度

作品新収蔵

ミレーのパステル画
《ヴォージュ山中の牧場風景》を
収蔵しました。

初公開に向けての展示作業

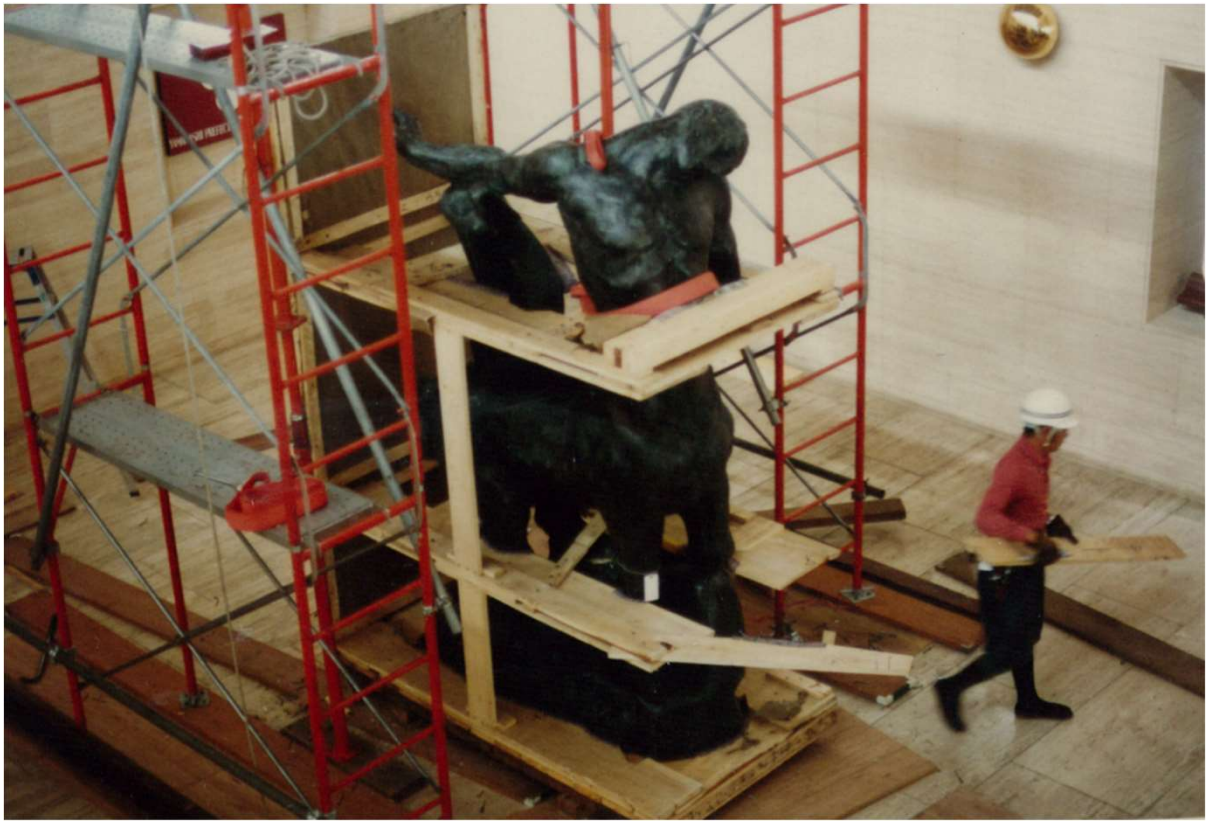
昭和58（1983）年度

開館5周年

作品新収蔵

アントワーヌ・ブールデルの
ブロンズ彫刻《ケンタウロス》を
収蔵しました。

当初はエントランス・ロビーに設置
しましたが、後に芸樹の森公園に移
設しました。



エントランス・ロビーでの設置作業

昭和60（1985）年度

展覧会関係

特別展「ミレー展　ボストン美術館蔵」会期中、日米の専門家を招いてのシンポジウムを開催しました。

展示室内で開催したシンポジウムの様子。

平成元（1989）年度

施設関係

美術館の向かいに山梨県立文学館が開館、芸術の森公園が開園しました。

以降、公園内に彫刻や立体作品を設置するようになります。

開館・開園当初の山梨県立文学館および芸術の森公園の様子

平成5（1993）年度

開館15周年

アンリ・シャピュのブロンズレリーフ《ミレーとルソーの記念碑》を芸術の森公園内の「バルビゾンの庭」に設置しました。

作品新収蔵

除幕式の様子

平成7（1995）年度

作品新収蔵

ミレーの油彩画《落ち穂拾い、夏》を収蔵しました。

お披露目式の様子

平成10（1998）年度

開館20周年

施設関係

増え続ける収蔵作品を安全に管理するため、収蔵庫を新しく増築しました。

竣工披露の様子

平成11・12（1999・2000）年度

作品新収蔵

甲府市出身の版画家、萩原英雄のコレクション（蒐集品及び本人作品）の寄贈受け入れを行いました。

本コレクションは現在、萩原英雄記念室で展示しています。

故萩原英雄氏の自宅での調査の様子。

平成16（2004）年度

施設関係

南館の新展示室（現在の特別展示室と萩原英雄記念室）が開室しました。

展示室には現代美術の展示にも対応できる、天井の高い三角形の部屋を設けました。

竣工披露の様子

平成20（2008）年度

開館30周年

施設関係　作品新収蔵

「ミレー館」をリニューアルオープンし、ミレーやバルビゾン派の作品展示を一新しました。

新収蔵のミレーの油彩画《眠れるお針子》もこの時に公開しました。

オープニング式典の様子

平成30（2018）年度

開館40周年

作品新収蔵

ミレーの油彩画《角笛を吹く牛飼い》を収蔵しました。

お披露目式の様子